

学校運営協議会議事録

校名	大阪府立刀根山高等学校
校長名	無津呂 弘之

開催日時	令和7年2月10日(月)15時から16時
開催場所	本校会議室
出席者(委員)	岩槻会長、藤原副会長、山岸委員、宮下委員、後藤委員
出席者(学校)	無津呂校長、粉生教頭、道場首席
傍聴者	なし
協議資料	令和6年度の各分掌の取組み 令和6年度学校経営計画評価(案) 令和7年度学校経営計画(案)
備考	

議題等
<ul style="list-style-type: none"> ○令和6年度の各分掌の報告・総括について ○令和6年度学校経営計画評価(案)について ○令和7年度学校経営計画(案)について
協議内容(意見の概要)
<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導について、難関といわれている大学の合格者が増えてきていることは喜ばしいことだと感じる。また、多くの大学で総合型(探究型)選抜の割合が増加している。探究する力は社会に出ても必要な能力なので、総合型(探求型)選抜で大学をめざす生徒を育成していただきたい。 ・海外研修について、参加した生徒は大変満足しているが、一部の生徒しか参加していないので限定的だと感じた。次年度は海外の修学旅行もあるが、他では海外研修を複数回実施している学校もある。海外研修の複数回実施についてはどのように考えているか。 【学校より説明】複数回の実施については、教員の引率費用等の課題があり困難である。国内で外国人と交流する機会をつくることで、学習意欲の向上につなげていきたい。今年度は、台湾の学校の来校や日本語学校の留学生との交流を実施した。参加した生徒は生き生きと活動しており、英語をもっと勉強したいという声もあった。海外研修に参加した生徒たちはこのような交流会に積極的に参加している。 ・府教育庁より入学者選抜制度の改革案が公表されたが、特にアドミッションポリシーでの選抜について、学校経営計画にはどのように反映されているのか。 【学校より説明】現段階では十分に反映ができていない。詳細が決まり次第、中学校等に分かりやすいようにお示しする。 ・府知事より全府立高校で姉妹校を提携するという教育施策を発表されたが、学校としてはどのように考えられているのか。 【学校より説明】来年度より修学旅行で台湾に行くため、台湾で考えていきたいと思う。今後の教育庁からの支援・指示を踏まえて進めていきたい。 ・令和7年度学校経営計画について、「させる」という文言を変えて、主体性を重んじる表現にしたことは大事だと思う。先ほどの海外研修についても主体性をもって参加してほしいと思う。また、異文化に触れることで人権意識の向上にもつながると感じる。 ・働き方改革について、業務短縮した時間が生徒や教職員のコミュニケーションへつなげられればよいが、学校の現状を鑑みると難しいと感じた。